

いいかも

<第2回可茂地区家庭教育担当者研修会より 東白川村の取組>

11月1日(月)第2回可茂地区家庭教育担当者研修会にて、東白川村の家庭教育担当者が発表された実践内容を紹介します。

1 学級生による主体的な運営の 東白川村ひよこくらぶ運動会

東白川村家庭教育担当者の願い

- ・親さんたちが、自分たちで進めていく家庭教育学級にしたい。
- ・子どもの運動会の取組だが、親さん同士の交流の場として大切にしたい。



当日までの準備での役員(親子)の姿

- 保護者同士折り紙を切ったり貼ったりしながら、慣れない作業だと話しながら、楽しそうに取り組むことができた。
- 子どもに積極的にのりやハサミを保護者の管理のもとで使わせ、上手に使えることに子どもの成長を感じると親同士交流することができた。
- 作業をしながら、保護者同士、育児の相談や悩みを交流することができた。



アブラハム体操の練習



親子で製作



支援室と協力して製作

当日の活動

実施日；令和3年10月18日(月) 10:00~11:30 (受付 9:45)

場 所；はなのき別館ふれあいホール

内 容；ミニ運動会

目 的；親子で運動会を楽しもう！！

親子で体を動かすふれあいながら、体を動かすことの楽しさを知る。

当日参加者数；14組の親子 32名

当日のプログラム

- ①あいさつ
- ②準備体操「アブラハムの子」
担当グループが前に出て体操をする。
- ③ボランティアさんの紹介
子育てボランティア（託児）と保育士さんの紹介
- ④お誕生会（9、10、11月生）
- ⑤ミニ運動会
 - ・車に乗ってLet's go！！
段ボールカーに乗って競争しよう！
 - ・おんぶde抱っこリレー
おんぶや抱っこしてリレーをしよう！
 - ・障害物競走 トンネルを抜けて、ご褒美をもらおう！
 - ・おやつ時間
- ⑥担当グループの閉会あいさつ
会場の飾りつけをプレゼント

【担当者研修会で実践の様子を聞いた
他市町村担当者からのご意見】

- ・ミニ運動会の参加者は、村全体が知り合いで自由に話し合える雰囲気を感じられた。
- ・学級生の負担を考えると担当者がどうしてもサポートしてしまうが、役員さんが積極的に活躍して、リーダーの育成や学級生の主体的な動きが感じられる。

- ・ミニ運動会の運営という共通の目的に向かう中で、道具作りなどの具体的な活動を通して、学級生の主体的な動きが生まれている。
- ・なんでも気軽に話し合える雰囲気が日常的に醸成されていて、学級生同士の距離間も密で、絆が感じられる。家庭教育学級では近隣の子育ての仲間づくりこそ大切です。

2 市町村を超えた

清流しらかわ子育てネットワーク事業

清流しらかわ子育てネットワーク事業は平成11年度よりスタートしました。1年に1回、中津川市加子母、白川町、東白川村の3町村が輪番で開催当番を受け持ち、親子が集まって、子育ての楽しさや悩みなどを自由に話し合う中で、保護者同士の交流を深めています。毎年保護者に大変好評で、会の多くが保護者により主体的に運営をされています。（昨年度と今年度はコロナ禍で開催延期・規模縮小）

この事業は岐阜県の心の教育推進ネットワーク事業の一環として白川地域全体で始まりました。当初は白川町と東白川村だけでしたが、平成12年度より、東白川村と交流のあった当時の恵那郡加子母村も同じ清流白川の流域市町村として参加されました。それ以後20数年間に渡って、脈々と受け継がれてきています。

ねらい

- ①地域間に子育てに関するネットワークを作り、地域全体で子育てを支援し健やかな子どもを育てる。
- ②乳幼児を持つ保護者が集い、子育ての楽しさ、悩みなどを自由に交流する。
- ③交流会を通して、近隣町村の乳幼児を持つ保護者同士の友達の輪を広げ、交流を深める。



- ・月毎の年間計画に示された家庭教育学級とは一味違った新鮮味のある合同学級として運営され、楽しい空気が流れている。平成11年度より、年を追うごとに体制も整備、内容も精査されて、参加された親さんからは非常に好評である。
- ・日頃の生活圏での繋がりが家庭教育学級にも生かされ、二つの自治体同士の連携から発展して圏域を超えて東濃地方の自治体も参加している。少子化で家庭教育学級生数の減少による学級運営が難しくなってきたという課題を解消するヒントにもなっている。

佐見小・中合同家庭教育学級

令和3年11月9日（火）

- 11：30～12：00 町給食センターより栄養教諭がWEBにて講話
- 12：10～12：45 給食試食会 食事しながら給食WEB視察
- 13：00～14：30 保健センターより保健師がWEBにて講話『子育て講演』

小中合同開催
町関係機関との連携
1日で2つの講話
体験型（給食試食会）
オンライン開催

工夫満載の家庭教育学級



佐見小学校・中学校合同の家庭教育学級が、白川町給食センター、町保健センターをオンラインでつないで開催されました。試食会もセットで食に対する理解を深めること、子育てについては、事前にアンケートをとり、保護者の思いを把握して、寄り添った講話内容をしていただく等、貴重な時間を充実するために、今回のようなスタイルを計画されました。

1【給食に関する講話の概要】

白川町給食センターとオンラインで接続

- ・給食センター内での食材の選定や調理の様子
- ・「ぎふ野菜ファースト」では具たくさん汁物を夕食に作っておくと便利
- ・野菜が摂れるレシピ紹介



2【小・中それぞれで、給食試食会】

3【子育て講演の概要】

白川町保健センターとオンラインで接続

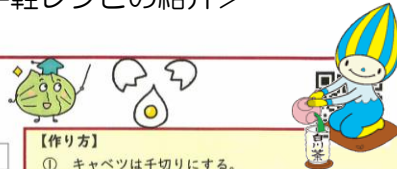
- 「思春期の子育てに向き合って」
- ・思春期の親子関係、なんでも聞いてあげる、聞いてもらうだけでよかった。
 - ・気にかかる様子が見られた時の言葉例
 - ・相手の思いを受け止める時の言葉例
 - ・メディアとの付き合い方
 - ・メディアが脳に与える影響の動画

（白川町公式チャンネル）

＜野菜お手軽レシピの紹介＞

＜参加者の感想＞

たまキャベツ



【材料】(1人分)


たまご	1個
キャベツ	1枚
お好み焼きソース	お好みで
マヨネーズ	お好みで
かつお節	お好みで
青のり	お好みで

【作り方】

- ① キャベツは千切りにする。
- ② お皿に①のキャベツをドーナツ状にしき、真ん中に卵を落とす。
- ③ 黄身につまようじで穴をあける。(爆発を防ぐため)
- ④ レンジで加熱する。(600W、1分～2分)
- ⑤ お好みで、お好み焼きソース、マヨネーズ、かつお節、青のりをトッピングする。

忙しい朝でも、たくさん野菜が食べられる一品です。ケチャップ味にしてもおいしいです。

ほっとくパスタ (Ver.冬)



【材料】(1人分)

スパゲッティー	1束
ベーコン	2枚
たまねぎ	1/8玉
白菜	1枚
しめじ	1/4株
オリーブオイル	適量
コンソメ	小さじ2
しょうゆ	小さじ1
水	100cc
牛乳	200cc
バター	5g
粉チーズ	大さじ2
塩こしょう	お好みで

【作り方】

- ① ベーコンは1cm幅、玉ねぎはスライス、白菜はざく切り、しめじは石づきをとり、ほぐす。
- ② 鍋にオリーブオイルをしき、ベーコン、たまねぎ、白菜、しめじを軽く炒める。
- ③ 水、牛乳、コンソメ、しょうゆを入れる。スパゲッティーを半分に折って入れ、ふたをして煮る。(時々混ぜる)
- ④ 水気がなくなり、スパゲッティーが柔らかくなったから、バター、粉チーズを入れる。塩こしょうで味を調える。
*水加減は固さを見て調節してください。

スパゲッティーをゆでる手間がない分、手軽に作れます。

* 「小と中が一緒にやれるといいね」と話していたことが実現しました。

* 栄養バランスを考えた給食の話から、家庭での食事について考え直したい。

* 給食センターの話は小学校でも聞いた話ですが、何度聞いてもいいお話でした。

• プロの保健師としてのアドバイスとご自身の親としての体験が胸にささり、あっという間の時間でした。

いつもの食事に野菜を+1皿
野菜350gの目安は 小皿5皿分(1皿約70g)



プラス + 野菜1皿を心がけましょう

ぎふ野菜ファーストのInstagram
料理を作って Instagramに「ぎふ野菜ファースト」をつけて投稿してね



ミナモオフィシャルサイト「ミナモTV」はこちら



R3 白川町学校給食センター 配布資料



• 小学校、中学校、白川町内の関係機関との連携を意図しながら、それをオンラインで結ぶことにより、主催者、講師、参加者、そして家庭での聴講者も含め、効率的で充実した研修ができていました。

• コロナの感染防止対策を徹底し、1日で二つの講話と体験型の給食試食会という3つを効果的に組み合わせた構成を工夫されました。